



あなたと結ぶ 議会情報誌

6月
定例議会

平成29年7月13日 発行

No. 157

最上町 議会だより



最上小国川ダム定礎式

6月定例会	一般会計補正予算...2~3	議案審議...4~5
平成28年 繰越明許費 ...6		一般質問...7~9
委員会研修(総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会)...10		
請願提出 ウエルネス特別委員会報告 教えて議会...11		
議会の動き 編集後記...12		

4 億 4 千 2 百万円を 29 年度へ繰り越し!

平成 29 年度一般会計補正予算 3,458 万 7,000 円(増)
総額 59 億 5,158 万 7,000 円

主な補正事業

- ◆ 公用車運転管理事業負担金 531 万円
- ◆ 若者定住促進住宅取得支援補助金 340 万円
- ◆ 町道修繕工事請負費 460 万円
- ◆ スクールバス購入費 970 万円
- ◆ 教育用タブレット等購入費 471 万円
- ◆ 簡易宿泊施設 りんどう 駐車場修繕工事 61 万円



みつわ幼稚園・東法田小学校のみなさん

6 月定例会は、6 月 8 日から 9 日までの 2 日間の日程で行われました。
付託された議案は、平成 28 年度一般会計補正並びに特別会計補正等の専決処分 10 件、繰越明許 1 件、人事案件 13 件、条例の制定 2 件、計画変更 1 件、計画策定 1 件、車両取得 2 件、平成 29 年度一般会計補正並びに特別会計補正 5 件の全 36 件を慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。
一般質問には 3 名が登壇し、町の姿勢と政策を正しました。



◆ 教育用タブレット等購入 471 万円



◆ スクールバス購入 970 万円

最上町一般会計 繰越明許費 繰越計算書(28 年度から 29 年度への繰越事業) (単位: 千円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳			
					既収入 特定 財源	未収入 補助金	特定財源 起債	一般 財源 その他
2 総務費	3 戸籍住民登録費	個人番号カード交付事業	732	732		732		
6 農林水産業費	1 農業費	水田畑地化基盤強化対策事業	17,200	17,200		14,450		1,700
	2 林業費	林道最上奥の細道線開設支障木伐採収集事業	1,934	1,934				1,934
7 商工費	1 商工費	地方創生拠点整備事業(詳しくは 6P)	172,110	172,110		79,271	82,700	10,139
8 土木費	2 道路橋梁費	除雪対策費(除雪機械購入)	47,088	47,088		23,000	11,500	12,588
		公共道路改良費	68,300	68,300		34,487	25,900	7,913
10 教育費	3 中学校費	最上中学校大規模改修事業(詳しくは 6P)	134,577	134,577		39,996	94,300	281
合計			441,941	441,941		191,936	214,400	1,700

議案審議

■地域振興公社の経営状況

問 平成28年度の西公園体育施設として、体育館の利用状況と温水プールの保守について。

答 昨年度、体育館には7千263人の利用がありました。また、温水プールのヒートポンプは更新時期であります。が、「トトサツカーくじ」の助成事業に申請するなど、利用者に不便をきたすことがないように修理をしながら維持していきます。

問 地域振興の役割と新たな事業展開について。

答 西公園運動施設に関しては、町民の健康寿命を延ばす施設としての利

用を検討するほか、周辺施設の木質バイオマス発電所の熱利用も考えてい



おらだずの宿 りんどう(大堀)

■在宅介護推進について

問 居宅介護サービス給付費が減額されていますが、居宅介護の今後の考え方と、介護認定審査会での調査員の内容について。

答 今後、健康寿命を延ばし介護状態を防ぐ取り組みと、介護が必要になっても住み慣れた地域で生活ができるよう在宅介護サービスの充実に努めます。

また、介護保険サービスの利用は、介護認定審査会の要介護認定が必要となりますが、ケアマネージャーが審査会のために、身体や認知機能等の調査を行います。



小型動力ポンプ積載車

■小型動力ポンプ積載車の取得

問 耐用年数の超過による更新だが、利用できる今後の対応は？

答 今回の車両取得は、上満沢と堺田消防団車両2台になります。故障もあり、修繕も行ってきた車両です。今後も計画的に設備更新を行っていきます。

きます。また、マンスリーマンション的な役割としても検討していきたい。更に効率的な管理運営と公共サービス業務が保たれるよう、指導監督して参ります。

■保育料に関わる条例改正

問 幼児教育の完全無償化の財源について、国から補填するなどの話はないのか？

答 現在のところ具体的な話はありません。交付税の中に算定されているものもあると思われますが、今後、国へも財源支援を要望していきます。

■本城2区浄化槽事業の進捗状況

問 本城2区地域内の進

捗状況、また農業集落排水に接続して、施設を使用しては？

答 現在、浄化槽整備(株)と共にPRしながら申し込みを受け付けています。農業集落排水の接続は、工法的には不可能ではないのですが、工事費も高額となることが予想されるため、それぞれ単独で考えて参ります。

■看護師不足解消に向けて

問 看護師不足をどのように解消するのか？

答 病院エリア全体で働いている職員が、元気に働ける魅力ある職場づくりが必要であると考えている。

また、最上広域での看護師奨学金も活用してもらいたい。

■事件

全会一致で可決

■消防委員会委員(1名)

*任期
平成29年9月30日まで
一戸 孝芳氏(大堀)

■農業委員会委員(12名)

*任期
平成29年7月20日から平成32年7月19日まで
橋 光廣氏(横川)
渡部 浩栄氏(月楯)
小林 吉雄氏(沢原)
奥山定次郎氏(新田)
渡邊 紀栄氏(満沢)
二戸 孝一氏(大堀)
庄司千賀夫氏(東法田)
奥山 勝明氏(立小路)
中島 聡氏(若宮)
齊藤 則子氏(瀬見)
後藤 一男氏(野頭)
五十嵐一春氏(向町)



せみの湯(瀬見温泉)

■瀬見温泉共同浴場

問 瀬見温泉の共同浴場の利用状況と宣伝広告等の内容は？

答 昨年度は1万人の利用者でしたが、現在は常連客に落ち着いてきています。宣伝広告等は、国道47号から見えるような看板を考えています。

■教育環境の整備と利活用は

問 教育用タブレットPC等購入について。

答 県の補助を受け、小学校において探究型学習を通して『確かな学力』の育成を図るため、全ての小学校を対象に、69台のタブレットPCを整備し、2人に1台の使用環

境を実現します。

問 月楯小学校の今後の利活用をどのように考えているのか？

答 廃校後の活用については、町のプロジェクトチームでの検討と地域の意向を踏まえて、今後の利活用について検討して参ります。



町政を問う

3 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

職員の人材育成と働きやすい環境づくりについて

町長答弁

人事評価制度は、職員を指導し育成するための「人材育成のカルテづくり」



宮本 浩 議員

答弁 課としての経営戦略を意識した中で、個々の目標を設定することから組織全体を俯瞰しての目標意識の共有が図られたことや、面談を通して、組織内のコミュニケーションが活発化しています。人が人を評価する制度であるの

質問 昨年度から義務化された実施されている「人事評価制度」。1年間取り組んでみての気づきや課題、また職員の意識などに変化は見られたのか？

答弁 職域毎の研修等とは違い、個人のスキルアップと言われる直接業務に関連しない自主研修の部分では、自ら進んで手を挙げるというものは、少ない状況です。研修の際にかかる、出張費や受講料などにも対応しています。今以上にきめ細かい対応をしながら、職員が率先して取り組めるような研

質問 研修計画書の中では、職員の自己啓発や自主研修活動への支援を行っているが、現状は？

で、評価する側の研修も継続して実施し、仕事のツールとして、上手く活用しながら住民サービスの向上を目指していきます。



職場風景

質問 職場環境の面で、時間外勤務の削減や有給休暇取得率の向上が求められているが？

修制度の仕組みづくりを行っています。

答弁 残業の問題も工夫の中で削減していかないといけません。そして、なによりも健康が大事です。そういった事をとらえた上での人事管理をしていながら、今回出た、気づきや課題を職員と向き合いながら、細かい行政サービスが出来るように再検討していきます。

平成 28 年度 繰越明許費（繰越事業）

地方創生拠点整備事業

1 億 7,211 万円

赤倉温泉マンスリーマンション「せんしん館」は、平成 28 年度繰越明許事業（平成 29 年度着工）にて、産地直売や歴史文化の情報発信機能に加え、露天風呂を備えたり日帰り入浴が楽しめる交流拠点施設に生まれ変わります。



露天風呂イメージ

（仮称）

「おくのほそ道赤倉ゆけむり館」

町では現在、旧館部分の解体と施設の設計を行っています。赤倉地区の皆さんが地域ぐるみで“おもてなし”が展開でき、町全体の賑わいに繋がるよう事業を進めてまいります。

最上中学校大規模改修事業

1 億 3,457 万円

工事計画

大規模な工事は、3 年間で実施予定。第 1 期、第 2 期、第 3 期工事費総額約 6 億円の見込み。



- 第 1 期工事では、受電設備、トイレ、エアコン、配管更生工事等の内部工事を中心に実施します。
- 第 2 期工事では、特別教室棟の外壁塗装、屋根の防水管理等の外回りを施行予定です。
- 第 3 期工事では、普通教室棟の外回り工事、教室等の内部補修及び LED 照明、LAN 工事、及び屋内運動場の工事を予定しています。

今までの模擬議会の具現化は？



佐澤 浩 議員

町長答弁

町の担い手育成を視野に『もがみ人材育成塾』の展開

町に暮らし続けるために必要な「地域資源を活かした産業の振興」。

プロジェクト1の「交流・連携による定住の促進」はまさしく若者の定

住支援そのものであります。プロジェクト3の「婚活・出産・子育て支援の充実」も次代を担う若者の応援そのものと言えます。

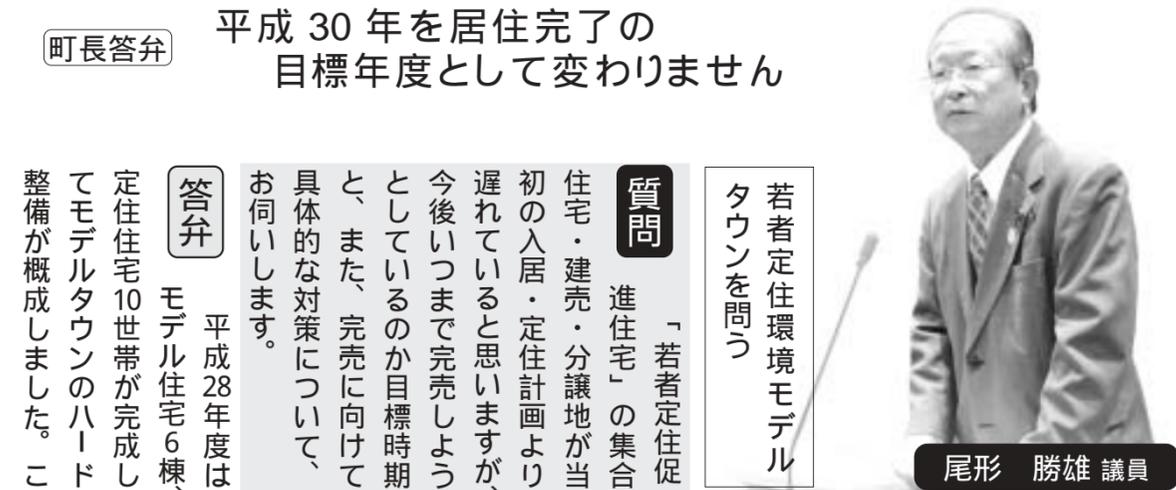
次代を担う若者に、自信と誇りを持って暮らし続けられる最上町をつないで行くためには、主権者であります町民の皆さんの提言の重要性は増すばかりであり、特に若者自らの発言は模擬議会に限らず、今後益々求められて来るものであります。その意味からも、今年度町の担い手育成を視野に

入れる「もがみ人材育成塾」の展開も重要になって来ると考えております。若者の意見を汲み取りながら、そして若者に担い手として活躍いただける場の創出を、今後益々目指して参ります。



平成27年10月27日に行われた最上中3年生による ども議会

モデルタウンの入居・完売の目標時期は？



尾形 勝雄 議員

町長答弁

平成30年を居住完了の目標年度として変わりません

平成28年度はモデル住宅6棟、定住住宅10世帯が完成してモデルタウンのハード整備が概成しました。こ

今後、モデルタウンの環境の更なる改善や、若者世帯が持家に向けて、又は賃貸住宅の活用に向けて踏み出しやすい更なる支援の充実にも、その対策に邁進して参ります。

全国的には昨年度は55自治体が給食費無償化を実施しています。今回ご提案を頂いた給食費の補助や無償化の構想についても、施策の優先度、そして充実すべき財源の確保等を考慮しながら検討して参ります。

若者定住環境モデルタウンを問う

「若者定住促進住宅」の集合

住宅・建売・分譲地が当初の入居・定住計画より遅れていると思いますが、今後いつまで完売しようとしているのか目標時期と、また、完売に向けて具体的な対策について、お伺いします。

平成28年度はモデル住宅6棟、定住住宅10世帯が完成してモデルタウンのハード整備が概成しました。こ

の2か年でおよそ8億円に及ぶ整備費を投じたこの事業は、定住促進対策の一大プロジェクトと言えます。現在まで、分譲区画において6世帯、モデル住宅において1世帯、賃貸住宅において2世帯の合計9世帯の利用であり、モデルタウンの居住受入能力の23世帯に対して、進捗状況は4割にとどまっておりますが、平成30年が居住完了の目標年度であることに変わりがないところです。

子育て環境の充実を目指す為、家計の経済的負担の軽減として給食費の補助を考えるべきと思いますが、いかがですか。

現在、小学校が1食あたり285円、中学校が315円の給食費を保護者より負担いただいております。これは、パンやごはん、牛乳、おかず等食材の実費に相当する額になります。

給食費の補助を問う



入居を待つ若者定住モデルタウン(向町)

【請願・陳情】

請 願	請 願 者	紹 介 議 員	結 果	不 採 択 の 理 由
「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願 (3月定例会で継続審査)	農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹 最北地方農民連 会長 二戸 正	石原 英一	不採択	現政権下での「経営所得安定対策の継続と交付額の拡充」を求めるべきで、過去の制度復活を求めるのは非現実的との意見のため。

ウエルネス特別委員会報告

第1回ウエルネス・ナイトサロン —— 沢原集落で開催しました!! ——

今後の地域医療や介護のあり方等について、地域の皆さんとウエルネスプラザの職員との話し合いを目的とした「第1回ウエルネス・ナイトサロン」が5月30日、沢原集落で開催されました。

当日は、沢原集落から約40人の皆さんが出席。ウエルネスプラザからは、佐藤俊浩最上病院長をはじめとする13名の職員が出席し、最上病院の改革や認知症予防対策、在宅や施設での介護のあり方等を話題に、懇談を深めました。6月28日には、赤倉のお湯トピアもがみで開催されました。



沢原集落での懇談会



活発な質疑が行われました



教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ 一般質問ってなに?

Q. 一般質問とは?

A. 議員個人が業務の執行状況や政策に対して適切な町政運営が出来ているか、町長と直接議論できる場。

Q. 誰に質問するの?

A. 一般質問は、執行機関に対してするものであるから、町長に限らず各課、各委員会等に質問できます。

Q. 最上町議会では、いつ行われているの?

A. 各定例会の初日に行われています。質問時間は、1議員45分間の持ち時間で、質問事項や質問回数には制限がありません。



生まれた子どもが残りたくなる最上町づくり

総務文教
研修

11月15日~17日

北海道平取町NPOネオフロンティア

委員長 二戸 守

平取町は、人口5909人で移住住宅政策では150坪で50万円、131坪で45万円で販売しております。

平成7年から「地域担い手育成センター」を立ち上げ、トマト就農30組を受け入れて、150坪のビニールハウス8棟で1200万円の収入、所得で400万円は確保できる。移住1年目は受入農家で研修、2年目は実践農場で夫婦で実践し、3年目以降は補助事業やリース事業等を利用して個人所有農場で独立するというものでした。

受け入れの条件は夫婦で500万円以上の自己資金を準備すること、研修期間の生活費になり、NPO「ネオフロンティア」が相談を受けておりました。

募集は「新農業人フェア」に参加をしておりました。翌日アポなしで実践農場を訪ねてみました。そこには横浜から移住して2年目の夫婦がいらっしゃって、3年目に向けてトラクター購入の準備をしていて12月から2月頃までには休みになるとも話しておられました。

所得と定住は切り離すことはできなく平取町には人生をかけて移住、子育てしている姿にはびっくりした。外国人労働者が町外から送迎バスで仕事に来ているなど、町のアスパラガスを始め所得のために農業ができる受け入れ体制、そして永住するための格安分譲地など一緒にすすめるなければならないと提言をし報告いたします。



北海道平取町のトマト実践農場



町の資源活用という観点から「林業による地方創生」を課題とした視察研修です。今町の森林現況は昭和40年代の団地造林後50年伐期を迎えようとしているが木材の安価等も重なり森林の荒廃の一途をたどり後継者すらまなならず製材業者もわずかに数社。国、県によるバイオマス政策に今後杉に変わる材はないのか。有効活用になる造林育林事業の仕組みづくり等について

先進地である岡山県西栗倉村、兵庫県栗粟市、京都府立大学大野演習林へ行ってきました。試験植樹を2014年より始め杉、ヒノキ等伐採跡地、耕作放棄地に早成樹(センダン、ポプラ、ユーカリ)を植える試みを開始した取り組みを行政が支援しておりました。70cm程のセンダンが夏の間に2m程に成長、20年近くで50cm程の伐採した切り口が成長の早さが確認できました。次に工場へ、木材の乾燥施設や材料を見学し想像以上に硬く壁材、床材、食器、装飾品節材等最近では左官職人さんからのマンション材注文等、バイオマス伐採を期に里山再生森林復帰へ、今までは林業収入早く50年名木ともなれば100年、今後新たな早生樹(センダン)林業の好循環を求め里山を変える農林行政森林計画を強く望みます。以上報告します。

産業厚生
研修

11月23日~25日

地方創生における産業振興

岡山県西栗倉村株式会社森の学校

委員長 大沼 正視

議 会 の 動 き



議会広報研修会（5/26 山形市）



関東圏もがみ友の会（6/4 東京都板橋区）



国道47号中央要望（6/27～28 東京 国土交通省）

【月毎の主な日程】 4月～6月の活動日数 45日

〔4月〕	
6日	町内こども園・保育所・幼稚園入園入所式 全員協議会
6日	最上小国川流域の治水・利水・活性化促進に関する特別委員会 議会運営委員会
7日	最上中学校入学式 議会広報編集委員会
8日	町内小学校入学式 新庄北高最上校入学式
11日	春の交通安全運動 早朝街頭指導
20日	最上県勢懇話会 最上小国川未来振興機構総会
21日	新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会 全員協議会
26日	町農業振興協議会総会
29日	最上中学校運動会
〔5月〕	
3日	町消防団春季大演習
16日	最上町民生児童委員推薦会
23日	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会役員会、総会
25日	県知事を囲む市町村自治振興懇談会
26日	県町村議会議長会 議会広報研修会
29日	最上広域組合議会 5月臨時会
30日	議会運営委員会
31日	最上町観光協会総会
〔6月〕	
2日	全員協議会 新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会
4日	関東圏「もがみ友の会」総会・懇親会
8日	全員協議会 6月定例会（～9日）
11日	最上校親子ふれあい大運動会
13日	最上小国川ダム定礎式 祝賀会
15日	新庄・湯沢地域間高規格道路促進同盟会地方要望（～16日）
22日	戦没者追悼式
23日	全員協議会
24日	仙台圏もがみ友の会総会
25日	紅梅荘後援会総会
27日	国道47号県境バイパス化整備促進 地方要望（～28日）
28日	赤倉温泉観光協会通常総会
30日	森林・林業・林産業活性化促進議員連盟定期総会

誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

議会傍聴 へのおまそい

次回の定例会は9月です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



QRコード



インターネット配信中
（町ホームページから）

編集後記

先日、国道47号を車で走っていると押しボタン式の信号機が赤になり停車。すると目の前を最上中学校の生徒が道路を渡っていきます。渡り終え立ち止まったかと思うと、車の方に振り返り、深々と一礼していききました。その姿を見た時に、すごく清々しい気持ちになったと同時に、常に謙虚で感謝する心を忘れていけないのだという事を思い出させてくれました。

今回の議会では、最上中学校の改修や小学校の統廃合等の教育環境に關した議案も出ました。人口減少に伴い、大きな変化を迎える教育環境ですが、変化に対応するだけでなく、最上町の教育個性を大事に守り続けてもらいたいと思います。

（宮本 浩）

- 【発行責任者】 議長 菅 俊郎
- 【広報編集委員会】
- 委員長 二戸 守
 - 副委員長 大沼正視
 - 委員 佐澤 浩
 - 委員 橋本 正
 - 委員 尾形勝雄
 - 委員 宮本 浩